



# 須田っ子 第11号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA

## 2学期スタート

校長

1学期終業式で、夏休み最大のめあては、「2学期元気に登校することです。そのために、健康に気を付けて過ごしましょう」という話をしました。

2学期の始業式の日。養護教諭の先生に、「今日は欠席した人はいますか」と聞くと、「欠席はいません」と返答がありました。須田小学校の子供たちは夏休みのめあてを達成できたなと思いました。保護者の方からは子供たちの体調管理などをしていただき、ありがとうございました。

20日間という例年の半分の夏休みでしたが、時間をつくって子供たちが完成させた作品が学校に飾られています。9月には運動会が予定されていて、授業参観がありません。よって、それらを保護者の方々に見ていただく機会がないのは残念ですが、学年だより等で一部紹介されますので、そちらをご覧ください。

さて、始業式では、右のキャラクターの名前と何のキャラクターかを子供たちに問うところから話を始めました。6年生がパッと手を挙げて答えてくれました。大勢の前で自分から発言しようという姿勢は大変勇気のいることですが、さすが6年生だと思いました。



そして、なぜこのキャラクターを出したのかを聞きました。人が何かを聞くときには意図があり、それを考えることも重要だからです。この質問にもすぐに応答がありました。反応できるということは、頭が働いているからです。自分事として問題に対応しようという姿勢が大変素晴らしいと思いました。

2学期はたくさんの行事が計画されています。

9月19日(土)運動会、10月8, 9日(木、金)6年生修学旅行、  
10月17日(土)文化祭、10月31日(土)育友会資源回収、  
11月5日(木)5, 6年生と中学生の交流会、11月17日(火)フリー参観日、  
12月2, 3, 4日(水、木、金)個別懇談

1学期に実施できなかった各種検診も実施予定です。

2学期も子供たちが元気に活躍できるように、地域や保護者の方々のご支援、ご協力をお願いします。



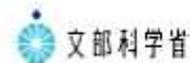
## 9月のカレンダー

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1日(火)内科検診(4, 5, 6年生)    | 21日(月)敬老の日           |
| 4日(金)避難訓練               | 22日(火)秋分の日           |
| 7日(月)預り金振替日、委員会         | 23日(水)運動会の振替で休み      |
| 8日(火)内科検診(1, 2, 3年生)クラブ | 28日(月)元気アップ週間(~10/2) |
| 10日(木)スクールカウンセラー来校日 ※   | 29日(火)歯科検診(全校)クラブ    |
| 11日(金)全校集会・安全点検日        |                      |
| 14日(月)ひまわり会挨拶運動         |                      |
| 18日(金)6限運動会前日準備(5, 6年生) |                      |
| 19日(土)運動会               |                      |

※スクールカウンセラーに相談したいこと等ありましたら、学校に連絡ください。



学校では、新型コロナウイルスに感染した児童生徒等へのいじめ防止についての指導をしましたが、新潟県でも8件のいじめ事案が確認されているようです。須田小学校ではそのような事案は現在確認されていませんが、そのような事案を確認したり、耳にしたりしたら、すぐに学校に連絡ください。また地域でもそのようなことが起こらないように、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて、文部科学大臣メッセージを載せます。



## 保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月  
文部科学大臣 萩生田 光一